

(写)

教 健 体 第 8 9 9 号
令和7年(2025年)12月16日

各市町村教育委員会教育長(札幌市を除く。) 様

北海道教育委員会教育長 中 島 俊 明

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に
おける市町村別結果の公表について(照会)

このことについて、スポーツ庁「令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施要領」(別添1、以下「実施要領」という。)では、教育委員会や学校が保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であるとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされています。

道教委では、この実施要領に基づき一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村教育委員会の同意を前提として、令和8年4月を目途に公表を予定している令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」(以下「北海道版結果報告書」という。)に、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載する考えです。

つきましては、貴市町村の結果公表が行われるWebページの二次元コードを北海道版結果報告書に掲載することについて照会しますので、次により回答願います。

なお、道教委としては、学校名を明らかにした公表は市町村教育委員会が判断することが望ましいと考えており、学校名の公表について照会する考えはありません。

記

1 回答様式

別添 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」における市町村別結果の公表について(回答)

2 提出先

所管する教育局教育支援課

3 市町村教育委員会から教育局への提出期限

令和8年(2026年)1月30日(金)

4 送付資料

別添1 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査実施要領

別添2 令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表に関する道教委の考え方

別添3 市町村における独自の結果公表の際に参考となるフォーマット

別添4 全国学力・学習状況調査及び全国体力・運動能力、運動習慣等調査北海道版結果報告書「市町村頁」の令和7年度以降の対応について
(令和7年2月6日付け事務連絡)

5 北海道版結果報告書への掲載内容

市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コード

担当係：学校教育局健康・体育課健康・体育指導係
担 当：主査 田 中 貴 博
T E L：011-206-6818(内線：35-641)
F A X：011-272-1234
E-mail：tanaka.takahiro3@pref.hokkaido.lg.jp

令和8年(2026年)1月26日

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」における
市町村別結果の公表について(回答)

令和7年(2025年)12月16日付け教健体第899号で照会のありました令和7年度全国体力・
運動能力、運動習慣等調査「北海道版結果報告書」に当市町村が独自に結果公表を行うWebペ
ージの二次元コードを掲載することについて、次のとおり回答します。

同意する 同意しない

(いずれかにレ印を入力してください。)

北海道教育委員会教育長 様

美唄市教育委員会教育長 石 塚 信 彦

(御回答ください。)

1 上記の回答に当たり、どのように決定しましたか。

(にレ印を入れてください。)

- 教育委員会に諮り決定した。
 教育長が決定した。
 その他()

2 決定に当たり、意見を聞いた機関や団体等がありますか。

()

3 「同意しない」を選んだ市町村教育委員会は、差し支えなければ、その理由を下欄に
記入願います。

4 今後の北海道版結果報告書の内容について、御意見等がありましたら、下欄に記入
願います。

ありがとうございました。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果公表に関する道教委の考え方

◆ 道教委の説明責任

道教委では、本道教育の推進に当たり、その責任と権限の下に、教職員の任用や人事、給与負担を行うとともに、本道教育が直面する教育課題を解決するため、広域的な行政施策を実施してきており、その成果等について道民にわかりやすく説明する責任があります。

こうしたことから、道教委としては、できるだけきめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、全国体力・運動能力、運動習慣等調査の実施要領上、最大限可能な範囲として管内別の結果を公表するなど、報告書の内容について不断の工夫・改善を行っているところです。

平成26年度の実施要領から、都道府県、市町村の区別なく、教育委員会や学校が、保護者や地域住民に対して説明責任を果たすことが重要であると明記されるとともに、都道府県教育委員会は、域内の市町村教育委員会の同意を得た場合には、当該市町村名又は当該市町村教育委員会が設置管理する学校名を明らかにした公表を行うことができるとされました。

この実施要領に基づき、道教委では、市町村教育委員会の同意を前提として、一層きめ細かく分かりやすい調査結果を示す観点から、市町村別の結果を公表することとし、平成26年度の報告書から、同意が得られた市町村の調査結果及び分析結果・改善方策（市町村の体力向上策）を、報告書に掲載し公表しています。

道教委では、これまでと同様の考え方のもと、市町村の成果や課題に応じたより充実した公表内容とするため、令和7年度の報告書から、従来の市町村頁のような共通の様式を用いた調査結果を掲載するのではなく、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載したいと考えております。

◆ 市町村教育委員会の説明責任

一方、小・中学校の教育に関しては、市町村教育委員会が設置管理者としての責任と権限を有しており、自らの施策の現状と成果の一つとして全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果を様々な角度から一定の数値により分かりやすく公表するとともに、施策の改善につなげていくことが大切です。

なお、道教委では、市町村教育委員会の公表については、学校・家庭・地域・行政が各地域の体力の課題を共有し、教育施策の改善や児童生徒の体力・運動能力等の状況の改善に一丸となって取り組むことができるよう、これまでも分かりやすい公表を行うよう働きかけてきたところであり、実施要領を踏まえた公表内容の改善・充実について引き続き働きかけていく考えです。

◆ 道教委による公表の具体

1 道教委による市町村名を明らかにした公表について

市町村が公表する内容については、実施要領を踏まえ、これまでの市町村頁と同様に、実技に関する調査及び質問調査における「具体的な数値による調査結果」、「調査結果の分析」、「体力向上に向けた改善方策」の3点の記載をお願いしたいと考えています。

なお、市町村の状況に応じた公表となることから、公表の方法や資料の様式・枚数は指定しません。ただし、市町村が独自に結果公表を行う際に参考となるフォーマットの例を提供します。

調査結果の分析や公表内容の検討、資料の作成など、市町村の状況に応じて、教育局が助言や補助などを行います。

教育上の配慮が必要と考えられる市町村()以外は、体力合計点の数値も公表することが望ましいと考えています。

()・小学校1校：55市町村 中学校1校：43市町村
義務教育学校1校：2市町村 (計100市町村)
・対象となる児童生徒数が少ない市町村
(参考：道教委では児童生徒数が160人程度である檜山管内を公表)
・ただし、道内には児童生徒数が少なくても体力合計点の数値を公表している市町村もあり、最終的には地域の実情に応じて市町村が判断すべき。

同意が得られた市町村については、令和8年4月下旬を目途に公表を予定している道教委の報告に、市町村が独自に結果公表を行うWebページの二次元コードを掲載します。

2 道教委による学校名を明らかにした公表について

都道府県教委が市町村教委の同意を得た上で学校名を明らかにした公表を行う際には、各学校の分析の結果や改善方を合わせて示す必要がありますが、全道の学校数が約1,500校に上ること、児童生徒数が少なく教育上の配慮が必要な学校が多いことから、市町村教委や学校が判断することが望ましいと考えています。

3 報道への対応

報道機関に対し、体力合計点の数値を一覧にするなど、序列化や過度な競争につながる報道をしないよう要請します。

令和7年度全国体力・運動能力、運動習慣等調査 美唄市内の小・中学校の状況及び今後の体力向上策（例）

学校数：小学校2校・児童数102名、中学校2校・生徒数89名

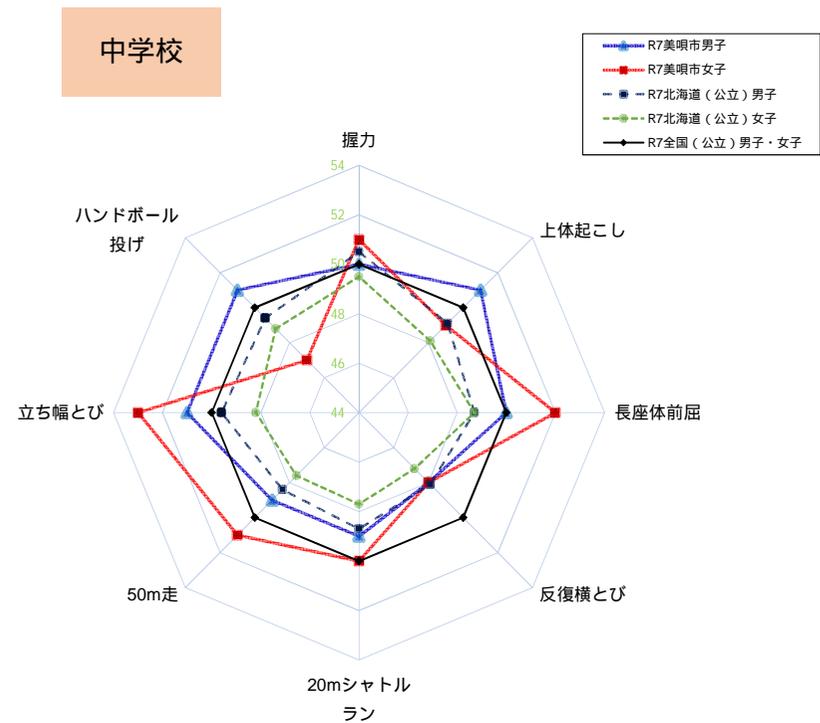
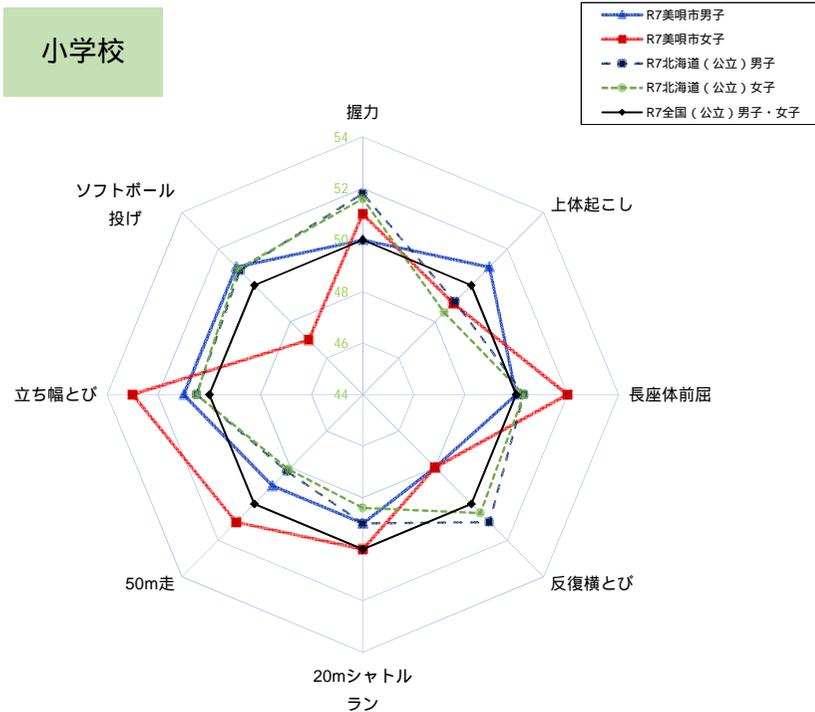
実技に関する調査の状況

・各種目の記録及び体力合計点

小学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール投げ	体力合計点
R7美唄市男子									
R7美唄市女子									
R7北海道（公立）男子	16.68	18.90	34.13	41.71	45.85	9.66	152.08	21.72	53.00
R7北海道（公立）女子	16.24	17.54	38.38	39.11	34.35	9.96	143.65	13.56	53.55
R7全国（公立）男子	15.96	19.46	33.88	40.89	47.94	9.46	150.93	21.06	53.02
R7全国（公立）女子	15.61	18.36	38.15	38.70	36.85	9.77	142.34	13.11	53.97

中学校	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20mシャトルラン	50m走	立ち幅とび	ハンドボール投げ	体力合計点
R7美唄市男子									
R7美唄市女子									
R7北海道（公立）男子	29.32	25.54	43.64	49.85	75.47	8.15	196.24	20.38	40.88
R7北海道（公立）女子	22.89	20.53	45.54	43.55	46.10	9.19	161.4	11.92	44.70
R7全国（公立）男子	28.95	26.09	45.12	51.64	78.82	8.00	197.51	20.74	42.20
R7全国（公立）女子	23.15	21.70	46.99	45.74	50.6	8.97	166.44	12.43	47.58

・各種目の全国平均値を50とした場合（T得点）の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで表示

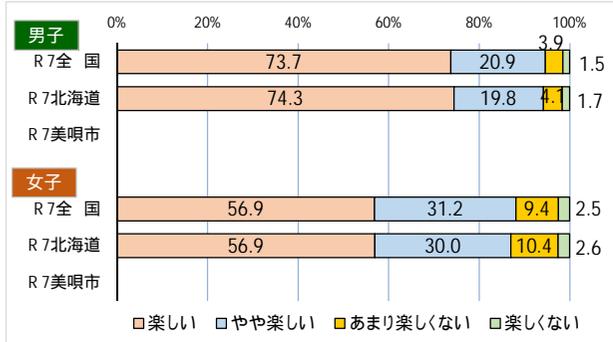


質問調査（児童生徒質問調査・学校質問調査）の状況（例）

小学校

【児童質問調査】

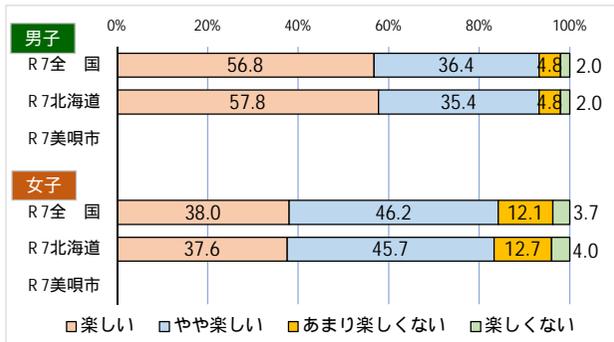
・体育の授業は楽しいですか



中学校

【生徒質問調査】

・保健体育の授業は楽しいですか



調査結果の分析

小学校

【成果】

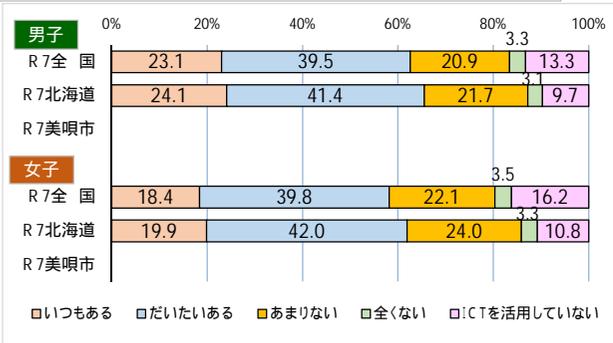
・小学校においては、体育授業において継続的にICTを活用し、ICTを活用しながら運動に取り組む指導の工夫を行ったことにより、運動に対する意欲が高まり、「体育の授業が楽しい」と感じる児童の割合が全国及び全道を上回ったと考えられる。

【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度は高いものの、ICTの活用が技能や知識の定着に十分つながっていないため、体育の授業でタブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると

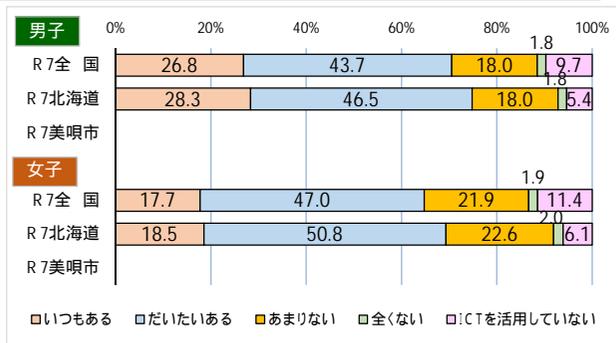
【児童質問調査】

・体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



【生徒質問調査】

・保健体育の授業で、タブレットなどのICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがありますか。



中学校

【成果】

・中学校においては、保健体育授業において継続的にICTを活用し、技能や知識の定着につなげるための指導の工夫を行ったことにより、保健体育の授業でタブレットなどの「ICTを使って学習することで、「できたり、わかったり」することがあると肯定的に回答している生徒の割合が、全国及び全道を上回ったと考えられる。

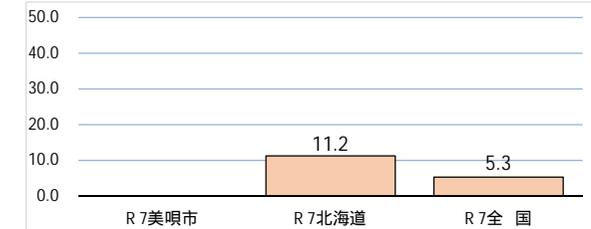
【課題】

・全国及び全道と比較して、ICTの活用頻度が高く、知識や技能の定着につながっているものの、保健体育授業に対する意欲を高める指導の工夫に課題が見られることから、「保健体育の授業は楽しい」と肯定的に回答している生徒の割合

【学校質問調査】

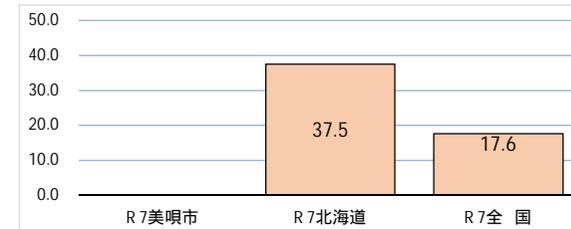
小学校

・体育授業において毎時間ICTを活用している。



中学校

・保健体育授業において毎時間ICTを活用している。



美幌市の体力向上に向けた改善方策

- ・美幌市体力向上検討委員会における全国体力・運動能力、運動習慣等調査結果を踏まえた体力向上や体育・保健体育授業の改善・充実に係る資料の作成及び普及啓発
- ・スポーツ庁の「ICT端末を活用した体育・保健体育授業の事例集」を参考にしたデジタル学習基盤を活用した「主体的・対話的で深い学び」の視点からの授業改善の推進
- ・体力向上に向けた各学校独自の「体力向上1実践」の推進
- ・地域学校協働本部や家庭教育サポート企業等との連携による望ましい運動習慣や生活習慣の確立に向けた取組方策の検討及び事業の企